

## 令和6年度中高生オンラインタウンミーティング懇談概要

日時：令和6年8月17日（土） 13:00～14:30

場所：庁議室（Zoom）

参加者：市長 ほか 参加者7名

### <懇談録>

#### ●市長

そうは言ってもね、何か質問とかあれば、まず何かどうぞ何か、あるいは感想とかから聞いていっていきましょうかね。何かどうでした？どうでした？どうでした？参加者1さん。何か僕の画面では参加者1さんが一番左上に写っているので、参加者1さんからちょっと聞いてみようかな。

#### ○参加者1

すごいつくば駅とかは結構図書館とかすごい高校生とかよく友達とかもすごい自習とかしてて、なんかめっちゃすごいそういう場所が駅前には多くあるんですけど、自分の家の周りとかは児童館とか学校、小学校の近くの児童館とかはあるんですけど、確かにあんまりその自習、高校生とかちょっと大人になったりする、その大人に近い子たちは、すごい勉強をできるような場所は今のところあんまりない、行きづらいかなみたいな、児童館とかは。小学校の頃とかはすごい行ってたんですけど。

#### ●市長

そうですね、そう。そういう声を前回いただいたので、本当にお試的に3か所で開けてみてるんですよ、土日開放って。机なんかも用意したりして。だから今年やってみて、いい感じだったらこれを各地区の児童館で広めていきたいなと思っています。逆にやっぱり何か児童館いまいちだなとかっていう意見が多かったら、ちょっとまた別のこと考えようかなと。近くにあるのってすごい大事だと思うんで、できるだけ皆さんの身近にある施設を有効に活用したいなと思っています。ありがとうございます。感想とかで参加者2さんどうですか。

#### ○参加者2

私も多分3歳ぐらいからずっとつくば市に住んでるんですけど、それでもさっきいろいろおっしゃってた活動の話とかも知らないことばばかりだったの

で、自分が知らないだけでちゃんと動いてるんだなとちょっと感動したのと、あとはそのなんとなく私がずっと思ってるのは、つくば市の図書館が駅近くにあると思うんですけど、コリドイオとかが今できたから、全然そのそこまでめっちゃめっちゃ不満とかではないんですけど、その読書スペースとか勉強するスペースが何かなんとか少ないなと思ったり、本の数とかもこれここに置いてないのかってなったりするのがあったりするんで、もっとそういうのを充実させてくれたら学生も、もっと利用するようになるのかなとかは思います。

●市長

はい、ありがとうございます。そうなんですよ。ちょっとね、今のつくば市の中央図書館というのは、つくば市の人口の規模とかに対しては、ちょっと不満だなというのはね、あると思うんです。で、今、実は市役所の中でもいろんな人達と議論を始めていて、一体本当につくば市にふさわしい図書館ってどういうものなんだろうねっていう議論を始めているところなんですよ。で、それは単に図書館の機能だけではなくて、やっぱりそれこそ若い人たちがもっと集いたくなるような要素ってどんな場所だろうとかね。そういうようなことも、今ちょうどね、中でいろいろと議論を始めているところなんです。ですので、もう少しこう、つくばという都市にふさわしいようなね、市民の満足度が高まるような図書館に、当然これ時間かかりますけれども、を今考えていきたいなと思っていて、ぜひそういう機会があればどんどん意見も出してもらえれば嬉しいと思います。

○参加者 2

分かりました。

●市長

はい、何か勝手に指しちゃいますけど、じゃあ参加者 3 さん、いいですか？ なんとなく僕の画面上の順番で。

○参加者 3

えっと質問してもいいですか。

●市長

もちろん。

○参加者 3

今、つくば市とかで僕、谷田部東中出身で、谷田部東中は部活の地域移行化が

すごい進んでいて、その TCAA っていうその地域のサッカーチームとかのコーチが来てくれて教えてくれるっていう活動ではあったんですけど。僕、将来高校の教員を目指してて、高校の教員とか今部活がどうなるのかまだ分かってなくて、サッカーを教えたいと今思ってるんですけど、中学校は進んでるんですけど、高校はどうかかなって思って。その地域移行化っていうのは中学校もあんま進んでなくて、どうなるのかなっていうのをちょっと聞きたいなって。

●市長

高校でやりたいんですね。高校生を教えたいってことですね。

○参加者 3

はい。

●市長

なるほど。

○参加者 3

そうです。中学生が地域移行化になっちゃって、教えられないかなって思って。そしたらもう高校しかないなって。

●市長

そういうことなんだね。サッカーが教えたいの、先生になりたいの？

○参加者 3

ちょっと両方やりたくて、それで子供と関わるっていうのと、そのスポーツとかで地域を盛り上げるっていうのは、教員で部活を教えるってくらいしかないかなと思って。

●市長

そうですね、いや正直、高校の部活のあり方っていうのは、ちょっと高校ってどうしても県がやってるので、僕ら直接はあんまり関われないんですけども、ただ、今聞いている話だと、やっぱり高校でも外部コーチの人達がどんどん入ってきてますよね。だから、これから恐らく高校の部活でもかなり外部の人達が中心に教えていくような流れには当然なると思います。それから、うん、だんだんやっぱりね、民間のクラブチームという選択肢が、高校でも部活をやりたい人は増えていくのかなとは思いますが。甲子園とかだとまたちょっと特殊な

んですけども、サッカーなんかだとね、最近はそのクラブチームと高校の部活動が同じ大会なんていうのも増えてきたりしているので。選択肢としてね、色々な、例えば高校の先生じゃない形でも、ひょっとしたらこの子供と関わるのとコーチが両方できるような仕事というのも、ひょっとしたら出てくるかもしれないですよ。今、例えばつくば市でも高校の先生なんだけれども、週末はつくば市内の部活動の外部指導員としてやってもらってる人なんかいますので、そういうやり方もあるかもしれないですよ。多分、だんだん色々柔軟にはなっていくと思います。参加者3さんが先生になる頃には、結構いろんなものは変わってね、この数年で変わっていくとは思いますがね。どんな形がいいんでしょうね、逆にね。

#### ○参加者3

やっぱその地域移行化になると、移動とかもあって、中学校とかでも他校に移動して練習するとかみると、そういうコストの面であったり、その指導者がいろんな学校の子を見る中で、その使うのは学校でやるとして、他の学校の子がその学校に移動して来て、そこで怪我をした場合、そのグラウンドを管理している学校が責任を取るのか、それともその子自身の問題になるのかって問題とかいっぱいあるんじゃないかなと思って。地域移行化って働き方改革で確かに大事だけど、ちょっと難しいんじゃないかなって思ってた。

#### ●市長

そうですね、谷田部東はそういう意味では比較的うまくやっている方なんですけどね。で、長期的には地域の総合型のスポーツクラブという言い方をしますが、ドイツなんかはそうなんですけどね。学校の部活から段々と、もう地域全体で、子供から高齢者までがいろんな形で体を動かすような施設に転換していく。そこで今あるスポ少とかがうまく指導の役割を担ったり、民間のチームもどんどん増えてますが、そういう人たちがうまく融合していく形かなとは思ってますけど、多分そこに行くまでにはいくつものまだまだステップがあるんで、じゃあこれから目指す人達にとってはちょうど選択が色々悩ましい時期かもしれないですよ。僕もサッカーずっとやってたんで（聞き取れず）すので。はい、ありがとうございます。参加者4さんいいですか？感想でもいいし、質問でもいいし、何でも思いついたことでもいいんですけど。

#### ○参加者4

私はもともとつくばみらい市に住んで、3年前くらいにこちらに引っ越してきて、本当にマジで何もつくば市の事を知らなくて、今日なんかやってるレベ

ルがすごい高かったのと、すごいなって思ったし、あと結構つくば市の外れに私は住んでるんですけど、何かもうちょっと学生が集える場所だったりとか、市の全体的に普及してくれたら過ごしやすいのかなと思いました。

●市長

どの辺ですか？お住まいは？

○参加者 4

自由が丘です。

●市長

自由が丘ですね。確かにそうですよね。外れとは僕は言ってないで、南の玄関口って言ってるんですけど。荃崎もさっき言った荃崎児童館の中に中高生が土日も行けるような場所を作ったりはしたので、何かそういう場所がほんともっともっと認知されてくると、皆さんも行きやすくなってくるのかな、なんてのは思ったりしてるんですけどね。やっぱり地域、地域でそういう場所をどう増やしていくかということと、荃崎の人の場合だと、牛久駅の牛久の利用者がすごく多いので

○参加者 4

そうですね。

●市長

つくバスでも実は牛久市ともいろいろ交渉をして、今までってあんまりこう、つくバスというバスが、他の自治体に行くってことなかったんですけど、荃崎のみなさんから、やっぱり牛久が生活圈なんだから牛久に通してよという声が多かったんで、これも数年前から実験して、もう今はちゃんとした路線として使えるようにしたりしたんですけど。何かね、そういう声をしっかり聞きながら、いろんな取組をしていきたいなと思ってますんで、よかったら一度荃崎児童館なんか行ってみていただいて、何だ小学生しかいねえやみたいになっちゃうかもしれないけど。まだほとんど知られてないのでね、まだ、だったら友達と一緒に行ってみてください。はい、ありがとうございます。じゃあ参加者 5 さんどうでしょうか。

○参加者 5

私もつくば市に住んでるんですけど、つくば市の結構つくば駅寄りに住んで

るんですけど、やっぱり中央図書館とかコリドイオとか、すごい私も結構利用してて。で、コリドイオができた時もすごい何だろう、学習できるスペースが増えたと思って嬉しかったんですけど、やっぱり何かもう最初は割と人もあんまり集まってなかったんですけど、最近はどういつ行っても満席って感じなので、そのやっぱりちょっと自分も皆さんと同じように、結構どこかで集まって勉強したり、そういう所を求めているので、つくば駅だけじゃなくて、例えば研究学園とかコミュニティ棟以外にも自習できるスペースとか、集まれるスペースがあったらいいなって思ってます。

●市長

そうだね。今コミュニティ棟の話をしようと思ったら、コミュニティ棟は知ってるんだね。そうだな、そうだね。確かに研究学園の周りもそんなにないけど、万博とかになってくると、学校の週末開放をしているので、図書室とかでね、やってもらったりするのはできるかな。もうちょっと近くだとそうだね、うん。ね、本当にそういう場所をね、少しでも増やしていきたいなと。今もうコリドイオ満席になっちゃいます？

○参加者 5

本当に中央図書館とコリドイオは、かなり空いた時間に行かないと割と結構埋まっていることが多いです。

●市長

あの石の石畳の方の通路の方も？

○参加者 5

混んではいる時の方が多いですね。

●市長

わかりました。ちょっと状況を僕も確認しておきます。でもね、それだけニーズがあるってことだからね。

○参加者 5

はい、ぜひよろしくお願いします。

●市長

頑張ります。はい。じゃあ参加者 6 さん。

○参加者 6

えっと、不登校について少し思ったことがあるんですけど、学校には来れる人たちがいて、そこは別の教室とかを確保してやるってということなんですけど、学校自体がトラウマというか、嫌いになっちゃって、学校にも行けないような人たちって、どんな方法とかでやったらいいんですかね。

●市長

はい、ありがとうございます。すごく大事な視点で、いくつか選択肢があって、市でもそもそも教育相談センターという場所があって、そこは筑波山の麓にあるんですけども、学校とは別の場所で、でもこう通ってそこで学んだりする場所があります。ただ、これ筑波山の今麓にしかないのも、ちょっと住んでるエリアによっては遠くてとても行けないので、もう少しこう何か所か増やさないといけないんじゃないかなというふうに思っているのが一つ。二つ目は、今、民間の不登校支援をしてるフリースクールがあるので、その皆さんに市として一人当たり個人に2万円出して、事業者さんにも2万円出すという仕組みを作ってるんですね。で、そうするとだいたい月謝って4万円ぐらいのところが多いので、ほぼ月謝の負担をそれほどなく、それでも場所によりますけど、使ってもらえるということで、今6つのフリースクールの団体がこの制度を活用してくれていて、そこに結構多くの子供たちが通っています。例えば、駅前にもむすびつくばという場所ができて、そこは市の補助が入ってるんですけど、さっきのコリドイオの隣にあるんですね。で、そこはいろんなプログラムをやっぱり充実させてくれるので、そういうことがどんどん広がってきてるなと思っています。で、最後、これからもっと力を入れたいと思ってるのが、やっぱりオンラインの部分で、やっぱり自宅からちょっと出るのもしんどいという児童生徒もいるので、そういう際にもう少し、今も用意はしてるんですけど、ちょっとまだ何て言うんだろかな、あまりこうシステムとしてしっくり馴染んでる感じがしていないので、もうちょっとオンラインでの学びを充実させるようなことができていけばなと思ってます。学校まで来れなくても、どこかに繋がってる場所があるという状況を目指しているのも、そんな取組を今いろいろ考えてます。どうでしょうか。何か。

○参加者 6

はい、ありがとうございます。

●市長

あのね、本当にいろんなね、豊里中にもあるよね。当然ね、校内フリースクー

ルはね。

○参加者 6

はい。

●市長

はい、ありがとうございます。どんどんいろんな形でと思ってます。はい、では参加者 7 さん。

○参加者 7

はい、ありがとうございました。つくば市で最近、質問っていうか、提案っていうか、疑問っていうかなんですけど、つくば市で最近プラスチックごみの分別が始まって、結構私の家でもやってるんですけど、その袋をどうするか、そのプラスチックを集める時の袋をどうしようかなって考えてて、結構お母さんとかがスーパーでわざわざ買うんですよ。プラスチックビニールっていうか、レジ袋を買わないと、その家にいい感じの大きさのビニール袋がなくて、プラスチックごみをまとめたいけど難しいっていうのを結構聞いているので、それをちょっとどうにかしてほしいっていうか、どうにかしなきゃいけないなって思っている。あと私、学校の給食がすごい好きで、私の学校で課題探究っていうのがあって、一人一探究で自分が思っている課題とか好きなものを追求しようみたいな、そういう活動があって、私は給食の食品ロスを減らしたいっていうテーマでやってるんですけど、その中で給食の量を調整するとか、そういう面では私の関与は難しいから、その他の面でどうにか生徒に対して働きかけとかができないかなって思って考えた時に、つくば市の食材を結構使ってらっしゃるじゃないですか、給食って。でもその農家さんとか給食センターとかのその努力っていうのが結構私たちに伝わってないような気がしたんですけど、そういう面を伝えられるアプリとか、その給食センター側からそういうの動画とかで、私たちに知らせてくれるっていうのももちろんだし、あと生徒側がこの給食、今日の給食がどれくらい美味しかったとか、ここもうちょっと煮て欲しかったとか、そういう提案をできるようなアプリが作りたいなって思っているんですけど、その質問っていうか、そういうアプリを作る時にどこに聞いたらいいんだろうみたいな、そういうところお聞きしたくて。

●市長

はい、ありがとうございます。そうですね。まず 1 つ目のプラごみの袋は確かに悩ましい問題ですよ。確かにちょうどいいサイズってあんまりない、結構プ

ラで分別すればするほどたくさん出るので、僕はどうしてるかというと、毎週生協を僕は頼んでいるので、そこに結構大きな薄い袋が一緒にくるので、それをいつも使ったりしてるんですけど、ないとなるとやっぱ買わざるを得ないところはね、あるのかな、どうしたらいいんでしょうね。悩ましいですよ。ただ、多少ね、買ってもらったとしても、その袋もまとめてリサイクルはされるので、最終的にはいいのかなとは思いますが、できるだけね、使わないに越したことはないですよ。食品については、実際、今つくば市の食材をもっと給食で使おうということを目指して…何か出てきたぞ、はい。参加者6さんのホワイトボード入って…僕のところからは消していいかな？これで大丈夫ですかね。はい、実はですね、今度もっと地元産の食材を使えるようにしたいと思っていて、それにはどうしなくちゃいけないかということ、今だとね、野菜は野菜でその時期しか使えないとかあるじゃないですか。それを加工品を作ることによって、すごく分かりやすく言うと、ジャムとかソースにしたりとかすることで、今取った野菜をもっと別の時期に出すことができるようになったり。あと貯蔵庫も今ないので、貯蔵庫も作る予定で、実はさっきその茎崎の話がありましたけども、茎崎の第二小学校というところの隣に、今度、全国的にもほとんど例がないんですけど、給食レストランっていうのを作るんですよ。それは何かというと、茎崎二小の子はお昼になるとそこに食べに行くことができますね。で、地域の人達、おじいちゃんとかおばあちゃんもそこに給食を食べに行くことができます。そうすると今、高齢者だけで食べている人達なんかが子供達と一緒に楽しく健康的な給食を食べることができるようになります。しかもそこでは出来るだけ地元産の野菜とかね、を使っているメニューが出すことができるわけですし。で、子供たちもね、自校式というセンター方式じゃない形に近い形での給食が食べられるようになると、そういう良いことづくめなので、そういうのを今もうあと3年ぐらいかかるんですけど、今準備をされていてやっているんです。これかなり面白い場所に実はなると思っていて、そんな取組などもしています。で、そういうのをもっと広報しないと、というのは確かにそのとおりで、いろんな取組が知ってもらうためには市の広報も頑張らなくちゃいけないなと思ってるので、多分その、ただ、つくば市の給食とか食べ物に関しては、えっとね、いくつか動画で頑張って配信したりしてるがあるので、そういうのも見てもらえたら嬉しいなと思います。何か職員が魚捌いたりしてる動画とかね、いくつかあったと思うので、後でチャット欄にでもリンクをちょっと送ってもらうように探してしますので、どんどんそういう発信をしていったりしたいと思います。その先のアプリってなるとね、どこに相談したらいいと言われると、うーん、どこに相談したらいいんだろうな。アプリを作ってるのはさっきのスーパーシティーとかっていうのは科学技術振興課というところが担当なんです。今ね、スタートアップパークという

場所が吾妻小学校の隣にあるんですね。そこに起業家とか起業をしたい人達は結構集まって来ていて、そこでいろんな相談をしたり、仲間探しをしたりとかしているんで、一度そういう場所に遊びに来てもらったりしてね、アプリもたくさんあるので、なかなかこう普通に作っても使ってもらうのって結構大変だったりするんだけど、どういうものだったら使えるアプリになるかなんていう相談を、ちょっとそういうスタートアップパークなんかで一回してもらってもいいかなとはちょっと思いました。

○参加者 7

ありがとうございます。

●市長

はい、ありがとうございます。ぜひね、何かできたらやってみてくださいね。はい。一周は大体できたかな？はい、あのすいません、僕が勝手に指しちゃいましたけど。あとは自由に少しまだ時間があるので、こういう提案があるよとか、こういう質問があるよとか、そんな真面目な話じゃなくて、プライベートでも全然いいんですけど。ご飯は何作ってんですかとかですね、何でもいいんですけど、趣味は何ですか？とか、どんな話題でもいいので、もしよかったら御自由に手を挙げてもらったりして話してもらってもいいし、はい。逆に最近の学校で課題に感じてることとかを話してもらったりしてもいいし。はい、という感じで、ちょっと僕は一口お茶を飲みますんで、その間に何か考えてもらっていいですか？はい、手が上がった。はい、じゃあ参加者 1 さん。

○参加者 1

はい。なんか最近ニュースとかで茨城のどこか忘れちゃったんですけど、無人バスの開発をしてるっていうニュースを見て、そのつくば市のバスも無人バスを体験で乗れるとか、そういう機会って今後あるのかなって思って質問したいなって思いました。

●市長

ありがとうございます。おそらく境町のことだと思います、見たのは。境町では自動運転のバスというのを運行してるんですね。実はつくば市でも少し前に筑波大学の中で自動運転のバスを走り出せました。今度やろうとしてるのは、つくば駅から筑波大に行く道などで、この自動運転のバスができるといいなと思ってます。で、実はその筑波大学の時はずっと体験できるように市民に募集をしたんですが、あっという間に埋まっちゃって、あんまり枠がなかったんですけど、

これからどんどん使えるのにしていきたいと思ってるんですね。あんまり他の町のことがどうこうって言うんじゃないんですけど、実はこう僕らがすごく大事にしてるのは、ちゃんとビジネスとして持続可能な形でテクノロジーを使っていくってことなんですよね。その境町って名前を出してしまったからあれですけど、あれも年間で1億円ぐらい赤字を出しながらやっているみたいなんです。そうすると、実際全然普及無理ですよね、そうなるよね。で、どういう形だったら完全に黒字とはいかなくても、せいぜいトントンで持続可能にしていけるかなんていうのを、今、筑波大学ですとか、いろんな企業に KDDI、au とか、（聞き取れず）とか、そういういろんな企業と一緒にビジネスのモデルとして本当に使えるものをどうすればいいかというのを一生懸命工夫して考えていますので、またそういうので乗れる機会ができれば、御案内は市でもしますので、ぜひ見つけてもらって、ぱっと申し込みをしてもらえると嬉しく思います。よろしくお願いします。

#### ○参加者 1

あと、今後、電気で走るバスとか最近見るんですけど、結構今後とかもう未来には電気のバスしか走っていないみたいにした感じなんですか。

#### ●市長

したいのか？したいですね、したいです。つくば市の姉妹都市の深圳という中国の都市があるんですが、ここはほぼ全て電気のバスに変わってるんですね。日本はこの電気のバスの分野ではやっぱりちょっと遅れちゃってると思います。ようやく日本の会社も少しずつその電気のバスを導入してくるようになりましたけれども、結局ね、電気のバスを作っている企業が、もう中国が圧倒的に強いんですね。ですので、その中国の電気のバスをこれから走らせていくことに世界中でなっていくんじゃないかとは思っています。実はつくば市はですね、筑波大学との連携で水素のバスというのを走らせているんです。一歩先を進んだりしてるんですけど、水素は水素で、まだまだ燃料のね、どうやってその水素を充填するかみたいな課題があったりするので、ちょっと日本で水素の自動車ってなかなか普及しないんですよ。どこかのタイミングで、ひょっとしたらすごい普及するのか、それともこのまま電気が普及していくのかちょっとまだ分かりませんが、トヨタがミライという水素自動車を、それは僕の市長車というのにも使ってるんですけど、環境に優しい車を（聞き取れず）すごい大事（聞き取れず）。もっとやりたいと思ってるのは、自転車の普及なんですね。みんな動ける人はみんな自転車で移動する。僕も市役所まで自転車で通勤する。そういうことも含めて環境に優しい行動をとれる（聞き取れず）。もう一人手を挙げてくれま

したか。何かちらっと手が挙がったようなマークが見えたんですけど、そんなことなかったですかね。どなたでもどうぞ。なんでもいいですよ、提案でもいいし。はい、じゃあ参加者2さん。

#### ○参加者2

これは単純に質問なんですけど、私はジェンダーみたいな部分に興味があって、つくば市もいろいろそういうダイバーシティ推進みたいなやつで、ジェンダーについて、市のホームページとかでもいろいろ書いてあるんですけど、具体的にどういった、何だろう、活動というか、対策というか、をしてるのか、市政目線、個人目線じゃなくて、そういう動かす側の視点としてどういった活動をしてるのが知りたいです。

#### ●市長

僕が市役所の中で言ってるのは、例えば性別の記載が必要がないんだったら、市民にそれを書かせちゃだめだよねというようなことを言っています。ですので、もう性別の記載欄というのはどうしても必要なものじゃない限り、基本的にはですね、もう性別って市民に書かないでいいようになっているんですね。あるいは、これは茨城県がそのパートナーシップ制度をやったので、そのパートナーシップ制度を市でももちろん運用してやっているというのがあって、実はこの先ちょっともうちょっとやりたいなと思ってるのは、ファミリーシップというパートナーシップより踏み込んだ形で、例えばその同性パートナーの子供とかがですね、含めて家族割が携帯で使えるようになるとか、そういうことも含めて、ちょっとしたことなんですけど、より踏み込んだ形で恩恵が受けられるようなものを作ってきて、基本的にはそういう意味では今年からダイバーシティ推進室というのをまた新たに作って取り組んでいて、ここに今、日本のこの分野での第一人者の一人と言われてる梅田さんという人をアドバイザーにですね、筑波大の先生でもあるんですけども、もう LGBTQ 関連の話をすると、必ず名前に出てくるすごい活躍してる女性なんですけど、梅田先生にアドバイザーになってもらって、いろんなアドバイスをしてもらっているという状況ですね。ので、もちろんその個人の悩みの相談とかは常にこのダイバーシティ推進室などでも受けてますけれども、そういう取組を通じて、まず当事者が苦しまないでいいような状況を作っていくと。それから多様な選択肢があるんですよということを市としても積極的に広報したりしていくというのを結構力を入れています。市長公室という、まあ僕の直接見る部署の中に入れましたので、取り組んでいるとこですね。

## ○参加者 2

ありがとうございます。あとなんかまた追加になっちゃうんですけど、そのジェンダーと一口に言っても、LGBT の話と男女平等とかそういう話が出てくると思うんですけど、その役所の中とか、それに限らずだけど、例えば管理職の人を女性何割にしましょうとか、いろいろ国とか地域レベルでもいろいろやってたりすると思うんですけど、何か女性を入れよう入れようって言って、とりあえず入れとけ、入れとけてやるだけだとあんまり意味がないというか、入れるだけ入って発言権がなかったら意味がないみたいな感じで、また問題になったりもしていると思うんですけど、そういうその街の市民の話だけじゃなくて、市役所とかそういう、何だろうそれを司る側の対策とかってありますか？

## ●市長

いや、それはめちゃくちゃ大事な話で、そもそもこの男女共同参画というのと、性の多様性というのをどう両立させるかというのが、テーマとして非常に難しく、実は今回、市役所の組織を作るときに、全国の市役所の先進事例を調べたんですね。みんな悩んで、一方では性の多様性で、男性とか女性じゃなくてということを行いながら、でも女性の活躍できる場所をもっと増やしていかなきゃいけないというのも一方であると。だから、女性の管理職の数値目標とかを作ってるけど、果たしてそれはいいんだろうか、よくないんだろうかみたいなことを言って。だから僕もいろんな専門家にこの件についても質問をしたんですね。でもやっぱり性の多様性はもちろん大事であると同時に、男女の共同参画も、はっきり言って日本ではまだまだ極めて遅れてると。だから、これはこれでもうしっかり力を入れていかなきゃいけないというのがやっぱりあるので。ただ、つくば市では、例えば女性だから管理職にしますなんていうことは、そんなことはやってないです。ただ、実力がある人達が今どんどん女性も男性も管理職になっているということで、例えば今、つくば市の副市長の一人は女性なんですけどね、彼女は茨城県内の自治体で初めて市の職員出身で副市長になった人なんですけれども、やっぱり素晴らしい能力を持っていて、男性だから、女性だからというよりは、もう能力が高いから副市長になってるわけです。ただ、逆に今まで能力が高くて女性だからなあっていうので、やっぱりなれないケースなんかも実際あったとは思ってます。ので、つくば市ではそういうことではなくて、能力がある人は、もう性別に関わらず活躍をしてもらえるようにしようということを常に考えていますし。半分は女性ですから、やっぱり半分は女性が少なくとも占めていくべきだと僕は思っていますので、それがバランスが悪いっていうことは、やっぱり何か歪んでるからそうなっちゃってると思ってますので、変えていきたいなという風に思って日々取り組んでいます。

○参加者 2

ありがとうございます。

●市長

一番大事なことは、ちょっともうちょっと喋っちゃうと、やっぱりね、女性の活躍っていうんですけど、それって女性の社会での活躍なわけですよ。で、だったら男性がですよ、ちょっと家庭でちゃんと仕事しろよというのが僕の考え方です。だから女性の活躍っていうなら、男性の家庭での活躍もちゃんとやりましょうということは常に言い続けて。で、その大きなきっかけというか、入り口になるのは、やっぱり男性が育児休業を取ることだと僕は思ってるんですね。父親が育児休業を取ると、母親のフルタイム就労率とかですね、育休3年後の父親の家事・育児分担率とか、そういうのが全部上がるということがもうデータで示されてるんです。ですので、市役所の職員については、もう男性の育児休業を今ほぼ100%までいきました、2週間以上ですけど、まず。で、市役所だけじゃ駄目なんで、今、民間企業向けにかなり全国でも多分一番高い金額の、会社で男性が育児休業を取ったら、その分の奨励金を会社に渡しますよということを最大で40万円の補助金を作って、しかも社員さんの代替社員を確保した場合、代替社員の給与等の半分を支給しますっていうのを作って、つくば市内の企業に男性の育児休業を取りましょうということをですね、一生懸命周知をして、それがあるとやっぱ意識が変わっていくという風に思ったりします。はい。

○参加者 2

ありがとうございます。

●市長

はい、参加者3さん。

○参加者 3

僕は子供食堂で活動してて、つくばとかスーパーとかでよくそのフードロスを減らすためにその食品を回収するって活動を見たりとか、僕は実際にその高校で高校生とかの身近な人に知ってもらいたくて、その食品の回収活動を行って、実際2日間で250個ほどの食品を集めて子供食堂さんに届けたんですけど、そういう活動を高校とか、まあ高校のがやりやすいとは思ってますけど、市の小学校とか中学校に回収ボックスとか、ちょっと子供に持たせるというのは大変だと思うんですけど、そういうフードロスとかを減らしたり、SDGsとかでそういうものが問題視されている中で、その活動とかをもっと広めて、その循環型社

会を市全体で目指していくっていうのを、もっとやったらいいんじゃないかなって思ってます。

## ●市長

そうですね。今、つくば市だと小中学生向けにはエコクッキング教室とかをやってるんですよね。いかに作り過ぎないようにするとか、捨てないとか、流さないというのをキーワードにして、東京ガスなんかと一緒にやってるんですけど、そういう取組をして少しでも学んでもらおうと思ったりもしてます。それから、今のフードバンクだと思うんですけど、フードバンクとかとフードパントリーとかって呼ばれるものですけど、確かに小中学校にはあんまり設置をしてないかもしれないですね。ちょっと多分、何かキャンペーンをやる時は一時的に置いたりすることはある気がするんですけど、確かにあまりこう、フードバンクの仕組みが学校の中にあるような感じはそんなに見たことがないので、ちょっと何か、どういうことができるのかとか、あるいはこれこれこういう理由でできないのかと、ちょっと調べてみたいと思いましたので。ね、少しでもね、みんながそういう意識を持つていくことが大事だと思っています。高校にはあるんですか。

## ○参加者 3

高校ではなくて、僕がその活動を立ち上げて、これから継続してやってもらおうと思ってるんですけど、子供食堂にそういう相談をさせていただいて、その茗溪学園さんとか、並木中等さんはそういう JRC 部とかで有名で活動をしたことがあるっていう経験した人がいて、その提案で僕もつくばじゃないんですけど、牛久栄進高校で今回 2 日間行って立ち上げさせていただいて、高校でも 250 個集まって、賞味期限が（聞き取れず）もう一回もう捨てられるんだろなっていう、本当に大量の調味料であったりそういうものがあって、こういう活動があって助かるっていう声もあって、つくばの高校さんでも、まだ多分やってないところとかもあると思うんで、そういうとこであったりとか、やっぱ市とかが関わってくれと僕らとかもやりやすくなると思うので。あと子供食堂さんも今は食材が足りていなくて、本当に喜んでもらえて、また夏休命中 21 日に、また行くんですけど、その日にも直接僕の高校生集めたんで、集めて、その食品を直接渡すっていう活動もしてて、つくばは発展してる場所もあるけど、生活に難のある人もいっぱいいるなっていうのは思ってた、そういう人の食べる物が無いとかを解消したいなって思いでやってたりとかしてて。高校ではそういう活動は元々なかったです。

●市長

あのね、持続可能都市戦略室というのがあって、そこでSDGsパートナーズという事業とかを色々やってるんですね。で、そこにはいろんな市民が集まっていろんな取組を行ったりしてるんで、良ければ後でチャット欄にリンクを送るので、少しそこ個人会員なんかもあるので、いろいろ今会員同士が繋がってね、お互いに提案したりして取り組んでるので、良かったらちょっと後で覗いてもらえればと思いますので。

○参加者3

ありがとうございます。

●市長

何かチャット欄に管理栄養士の動画集とか出てきてますね。食品ロスの話とかもね、出てきてますね。はい、後でよかったらチャット欄みんなで覗いてもらえればと。はい、ありがとうございます。素晴らしいですね。他にはどうですかね？何か提案でも質問でも真面目な話ばかりじゃなくても大丈夫ですよ、別にね、はい。これは、管理栄養士の動画とかは誰が編集してるの？酒井さんがやってるの？そういうわけじゃない？やってるんだね。はい、面白いと思いますので、良かったら、是非見てみてください、皆さんね。はい、他はいかがでしょうか？無ければね、もし良かったら、今日参加してどうだったかを一言ずつ皆さんから聞いていって、なんとなくちょうど時間が来たので終わりにしていきましょうか。最後に言い足りないこととかも含めて簡単にじゃあ一言言ってもらえればと思いますので、じゃあ今度はじゃあ参加者7さんから行こうかな。

○参加者7

私は結構学校でもボランティア活動とかに参加したりとか、私も自分で立ち上げたりとかしてたんですけど、さっきの色々参加してる高校生とかも、自分たちで活動してたりとか、あとつくば市でもそういうボランティア活動とかもやりやすい状況にあるから、結構勉強とかで忙しい面もあるんですけど、出来る限り私もその地域に貢献できたらいいなって思いました。

●市長

良いですね。是非いろんなチャレンジをしていってもらえるとね、それでまたまちが良くなっていくと思いますので、よろしくお願いします。はい、参加者5さん、じゃあ今日はどうでしたか。

○参加者 5

普段生活してて、自分の住んでいる市とかが具体的にどういう政策をしてるのかって今まであんまり知る機会がなかったんですけど、やっぱり今日お話ししてらっしゃったこととか、普段自分が疑問に思ってることとかも、結構具体的に策を考えてらっしゃって、すごい住みやすい市だなんて思いました。ありがとうございました。

●市長

これからも是非気付いたことあればどんどん言ってもらえるとね、そういうのでまたみんなが良くなっていくと思うんで、よろしくお願いします。はい、じゃあ参加者 4 さん。

○参加者 4

同じになっちゃうんですけど、政策とかもちゃんと充実してて、なんか、お、すげえって思ったし、なんかもっと好きになっていけたらいいなって思いました。

●市長

意外とちゃんとやってた？

○参加者 4

はい。意外とって言ったら失礼ですけど。

●市長

そうだよ、はい、頑張ってます。ありがとうございます。

○参加者 4 さん

ありがとうございます。

●市長

はい、参加者 2 さん。

○参加者 2

いろいろその市長さんの話とかで、つくば市の活動についても、よりいろいろ自分が分かんなかった分野とかまで知れたりとか、あとはさっき質問したジェンダーについても詳しくお答えしてもらったので、結構学びになることが多い

ったなと思って参加してよかったなと思います。ありがとうございました。

●市長

ありがとうございます。ぜひいろんな機会で生かしてってください。はい、参加者1さん。

○参加者1

はい、すごいなんかつくばの若い人から高齢の方々にも、すごい何かいろんな政策を考えたり取組とかしてて、あと一番驚いたのが、児童館とかで今高校生も使える自習室とかを開いたりもしてるって聞いて、今度っていうかこれから、すごいそこも見えてみようかなって思いました。

●市長

是非広げていきたいと思ってるんで、今3か所しかやっていないですけど、見せてください。ありがとうございました。参加者3さん、お待たせしました。

○参加者3

さっき言ったみたいな僕はボランティア活動とかを通して地域発展活動とかに参加させてもらって、やっぱり学生とかがこういう地域とか、（聞き取れず）とか、そういうのに関わる機会って貴重だなって思って、今回このタウンミーティングに参加させてもらって、元々つくばは良いまちだなって思ってたんですけど、今こういう活動してるんだとか、市長さんすごいなとか思ったり、もっとさらに良いまちだなって今思って、本当に参加してよかったなと思って、さらにこれから学生とかが地域を発展させていけたらいいなって思ったりしました。あと、最後に質問し忘れちゃったんですけど、ダンボールコンポストって何ですか？

●市長

あ、ごめんなさいね。ダンボールコンポストっていうのは、（画面共有する）段ボールがあって、そこに土になる物質とちょっとした燐炭っていう、要は発酵を促すような機械が、機械じゃないや、その材料があって、それを混ぜるんですね。で、ここに生ごみを入れると、微生物がいろいろと動き出して、野菜を分解してくれるんです、生ごみを。まあ野菜に限らず肉とかでもそうなんですけど。で、分解して発酵が進むと、それが肥料になるんです、野菜とかの。で、その肥料は、例えば自宅の庭とかで野菜作りをしたりするのに使えると。ので、生ごみをここに突っ込んでおくと分解をしてくれて、ごみのごみではなくなって肥料

として有効に活用できるようになる。で、それを別にプラスチックの大きな機械でやってもいいんですけど、段ボールの箱でこういうふうそこに土を入れて、その燐炭とかを入れて混ぜて使うので、ダンボールコンポストという、コンポストっていうのはそういう肥料を作っていくようなものなんですけど、そういう仕組みなんです。ぜひ定期的に市役所でも無料で、別にその辺で買ってもそんな高いもんじゃないんですけど、無料で配布してますので。何、もうすぐやるの？ 8月31日に何か配布するみたいです。ちょうど今申込期間だそうなので、よかったら、これ何で検索すれば…「つくば市 ダンボールコンポスト」とかで多分出て来ると思うので、ちょうど今申込期間でやってるみたいです。よかったら皆さんも。これね、最初は何か上手くいかないことが多いんですけど、上手くやると、要するにコツはかき混ぜすぎちゃいけないらしいんですけど、それはいいとして、今の時期ならあんまり寒い時期にスタートすると難しいんですけど、まだ暑いからちょうどいいと思います。ちょっとコバエが出たりするんですけどね。ただ、ごみの量は激減しますので、燃やせるごみが本当に全部きれいにきれいに堆肥になっていきます。はい、よかったらリンクこれもチャット欄とかに貼れますかね？はい、貼ったそうなので、ぜひ見てもらえればと。ありがとうございます、聞いてくれて。

○参加者 3

ありがとうございます。

●市長

ということで大体回ったかな？はい、じゃあ一回司会に返しますね。

◇司会

はい、では皆さん、たくさんの御意見ありがとうございました。それではフリートークの方はここで終了とさせていただきますと思います。円滑な進行に御協力いただき、本当にありがとうございました。最後に五十嵐市長から皆さんに本日のお礼を申し上げます。市長、お願いいたします。

●市長

はい、今日はありがとうございました。こうして皆さんとね、ゆっくりお話ができる機会って、僕にとってもすごい貴重な毎年機会になっていて、ちょうどいい人数というか、じっくり話すにはこれぐらいの人数が本当によくありがたく思ってます。皆さんはもちろん、もちろんね、まだまだ守られる存在だし、サービスの受け手でもあるんですけど、やっぱりそれだけじゃなくて、既に活動し

てくれる人もいますけども、どんどん皆さん自身がもう動き出していて、まさに新たな価値を一緒に生み出していってくれる仲間になってくれると思ってますし、もう既に仲間だと思っていますので、ぜひこれをきっかけに、また何か新しいことひとつやってみようかなと、これちょっとやってみようかなと本当にダンボールコンポストからでも全然いいんですけど、そういうところから何か一つアクションをしてもらえれば嬉しいなと思いますので、ぜひよろしく願います。今日はいろいろ話せて楽しかったです。どうもありがとうございました。

#### ◇司会

ありがとうございました。ちょっと最後にチャット欄に参加者7さんから市長にダンボールコンポストを学校でやるのはどうですかという御提案がありました…

#### ●市長

いいじゃないですか。ぜひやってください。学校でね、どっかでやってくれる小学校があった…茗溪でも確かやってくれてるんじゃないかな。ただね、これね、市長が学校でやってって言ったとかって言うと、学校の先生たちまで大変になっちゃうんですよね。なので何か皆さんからどんどん自分たちの場所で提案をしてもらえるといいな、なんていうふうに思っていますね。各教室とかでほんとやってくれたりしたら結構いいと思うんですけどね。どっかの小学校では、子供たち主体でやってくれてるような話と、茗溪は確かサークルの子たちがやってくれたりとか、少しはあると思います。

#### ○参加者7

学校の給食で食缶とかに結構野菜とかがあるじゃないですか。それが余った時にコンポストやろうかなって思ったんですけど、その学校の給食をそうやってコンポストに入れることっていいのかなと思ってたんですけど、それって大丈夫ですか？

#### ●市長

全然大丈夫だと思いますね。全然大丈夫なんですけど、実は今度作る学校給食センターの方では、それこそ食品残渣がゼロになるようなシステムを作ったりもしてるので。ただ、皆さんの意識を高める意味ではまだそれもできてないし、ありだと思います。まあすごい、何だろ、あの、あまり量が多すぎると。ね、堆肥にならないので分解ができないので、ちょっとその学校全体でやるとなると、規模が少し大きくなり、何だろその、あれ、さっきの段ボールの箱に対して、あ

んまり多すぎるとうまく堆肥化できないっていうような問題があるけど。試行錯誤しながら何かやってもらえるといいんじゃないかななんてちょっと思いますね。クラスで始めてもらうとかね。うん。ありがとうございます。